学校法人 兵庫医科大学

広報

兵庫医科大学　兵庫医療大学

vol.210
2011年4月号

「第１期生が卒業！」
兵庫医療大学 卒業式

兵庫医科大学 第34回卒業式
平成23年度兵庫医科大学・兵庫医療大学 入学式
平成23年度兵庫医科大学・兵庫医療大学 入学試験結果
平成23年度予算
最近の主な出来事、トピックス
海外便り／多彩人

特集「第1期生が卒業！」兵庫医療大学卒業式

平成１９年に開学した兵庫医療大学の歴史に「初の卒業生誕生」として永遠に刻み込まれる栄えある第１回目の卒業式。 晴天に恵まれた平成２３年３月１３日、平成２２年度兵庫医療大学卒業式がＧ棟アリーナにおいて執り行われました。

看護学部１１４名、リハビリテーション学部７６名（理学療法学科４０名・作業療法学科３６名）合わせて１９０名が教職員や保護者の方々に見守られ、晴れやかに学び舎を巣立って行きました。

大きな希望と夢を胸に、医療の世界でおおいに羽ばたいて活躍してくれることを教職員一同心より期待しています。

※薬学部は６年制のため平成２５年に初の卒業生が誕生します

「卒業生に贈る言葉」
高橋 由美さん（薬学部３年）

松田 暉 学長

先輩がまだいないなか、くじけることなく一丸となって新しい大学作りを手伝ってくれた皆さんに感謝し、誇りに思います。同時に、沢山の方々にご支援いただき、お世話になったこと、患者さんにご協力いただいたことを忘れないでください。

本学のキーワードは「ボーダレス」と「チーム医療」です。皆さんには学部や学科の壁を越えて交流し、他職種への理解の重要性を学び、幅広い人格と知識を身につけてもらえたと思います。また、社会で一層注目されているチーム医療についても十分理解してもらえたのではないでしょうか。ここで学んだことを大事にして、これからは医療現場の先輩や関係者、患者さんに支えてもらいながら、医療人として成長してほしいと思います。

これからの人生、「環＝調和」が欠かせません。特に、医療現場では「笑顔」を大切にして、人や仕事の繋がりを大切にしてほしいと思います。心のこもった「環」を作っていってください。

学位記授与

卒業式では３名の総代が松田学長から学位記を受け取りました。
式終了後、看護学部はオクタホールにおいて土居 洋子学部長から、
リハビリテーション学部はアリーナＧ棟において土肥 信之学部長から、一人ひとりへ学位記が授与されました。

看護学部

看護学部　佐々木（ささき） 麻耶（まや）さん

土居 洋子 学部長

看護学部４年間で学んだことは、看護の基礎教育です。看護実践能力の開発はこれから始まり、５年間程必要だと言われています。今出来ないことが沢山あっても、たゆまぬ努力を積み重ね、自己研鑽してください。そして、解明できない疑問をもって大学院に帰ってきて欲しいです。

■オクタホールにて

佐藤 禮子 副学長

皆さんはこの４年間で「学びの力」を十分に身につけました。「学び」無くして成長は無く、どんな時も「学び」が自らを支えます。生涯学習です。心が萎えてしまう時も、自信を持って一歩前に踏み出してください。

リハビリテーション学部

理学療法学科　波々伯部（ほおかべ） 亜美（あみ）さん

作業療法学科　大谷（おおたに） 愛（あい）さん

■G棟アリーナにて

理学療法学科

作業療法学科

土肥 信之
学部長

大学に通わせてもらった、ご家族に感謝してください。医療は日進月歩なので、生涯学習が重要です。日々の研修、勉強を十分にして、医療人として成長してほしいと思います。

新家 荘平 理事長

科学技術が進歩する一方で、超高齢化社会、医療費抑制の政策、医の倫理の未成熟さなど、日本の医療ではネガティブな要因が多くあります。この閉塞感のある状況を打破するには、熱意に溢れた皆さんの力が大切です。第１期生として何も無いところから道を切り拓き、後輩に立派な道標を残してくれたパイオニア精神で、卒業後も社会に貢献してください。初心を忘れることなく、悩み、苦しむ人達の助けとなる、プロの医療人として活躍されることを期待しています。

餞の言葉として、医学の父、ヒポクラテスの「Ars longa, vita brevis.（学術を極めるのは時間がかかるが、人生は短い）」を贈ります。勉学と人間形成に励んで、一本筋の通った志に大輪の花を咲せてほしいと思います。

学長賞

優秀な成績で卒業しました。

看護学部
嶋津（しまず） 美穂（みほ）さん

リハビリテーション学部
作業療法学科
小山田（おやまだ） 裕美（ゆみ）さん

リハビリテーション学部
理学療法学科
北風（きたかぜ） 浩平（こうへい）さん

「この４年間で『チャレンジすることの大切さ』を学びました。授業や実習は難しく厳しかったですが、丁寧にご指導いただきました。教職員の方々をはじめ、実習等でお世話になった方、友人、家族に感謝しています。この春からささやま医療センターで働きます。初心を忘れず、向上心を持って頑張りたいと思います」（北風）

課外活動功労賞

課外活動において特に顕著な成果を挙げ、他の模範となり、多大な貢献をしました。

看護学部
峰（みね） 早也圭（さやか）さん

リハビリテーション学部
（左）理学療法学科 井木（いぎ） つかささん
（右）作業療法学科 髙畑（たかばたけ） 美佐（みさ）さん

理事長特別賞

優秀な成績を納めると共に、課外活動においても貢献し、他の模範となりました。

「勉強もクラブ活動も楽しかったです。続けてきた水泳で良い結果が出せて嬉しい。これからも、何らかの形でスポーツに関わっていきたいと思います」（鈴木）

リハビリテーション学部
理学療法学科　鈴木（すずき） 香（かおり）さん

４年間を振り返る

１年目（2007年度）

開学当初、学生は新入生のみで少し寂しい感じもしましたが、「チーム医療・ボーダレス」精神、兵庫医科大学との連携、ポートアイランドの立地を活かした授業や取り組みで、元気のよい、結束力の強いキャンパスになりました。

第１回入学式

３学部合同授業
薬学部・看護学部・リハビリテーション学部が一堂に会する「ボーダレス」教育が1学年時からスタートしました。

早期臨床体験実習
薬学部、看護学部、リハビリテーション学部の混成チームが兵庫医科大学病院で実習しました。

４大学連携「防犯講習会・護身術講習会」
この催しを皮切りに、ポートアイランドに隣接する大学による連携事業がスタートしました。

学生会発足
クラブやサークル活動、大学祭の運営に至るまで、学生生活全般の支援を行うために発足しました。

２年目（2008年度）

オープンキャンパスや初めての大学祭など、学生が主体となった活動も増えました。

クリーンアップ ひょうごキャンペーン ー県内一斉クリーンアップ大作戦ー
周辺の企業や学校、行政等と一緒に、本学の学生約８０名がポートアイランドキャンパス周辺及び市民病院前駅周辺の清掃に参加しました。

第１回海鼻祭（かいきょうさい）
初の大学祭は大成功。大学祭実行委員の学生を中心に、学部の垣根を越えて、学生たちの力が集結しました。大学が海に面していること、大学のシンボルが「鼻（びゅう）」であることから「海鼻祭」と命名されました。

オープンキャンパス
明るい笑顔で来場者を迎え、丁寧な案内や説明で盛り上げてくれました。

体育館（Ｇ棟アリーナ）完成
6月からの建設工事が終わり、2009年3月に完成しました。

３年目（2009年度）

専門性を高めながら、国家試験対策、就職活動が本格化する前の重要な一年となりました。

兵庫医科大学病院 １日病院見学
希望する部署で先輩看護師に密着、看護業務の1日の流れを見学しました。

兵庫医科大学病院・ささやま医療センター 学内合同説明会
同一法人にある病院、医療センターの説明会が学内で行われました。

第１回仕事研究セミナー
現場で活躍する医療専門職の話を伺い、職業観の育成、学習意欲の向上につなげる場を設けました。その後も様々な職種の方にご講演いただいています。

４年目（2010年度）

実習、国家試験対策に加えて、本学の特色を活かした授業や行事など、忙しい日々を乗り越えました。

４学部合同「チーム医療演習」
西宮キャンパスで、兵庫医科大学３年生と兵庫医療大学４年生がチュートリアル形式の授業を実施。医学部・薬学部・看護学部・リハビリテーション学部の学生が一堂に会してチーム医療の立場で医療を考え、様々な問題解決に取り組みました。

ささやま医療センター見学
医療センターやリハビリテーションセンター、老人保健施設、宿舎の見学と業務体験、篠山市内散策などを行いました。

学校法人兵庫医科大学連携病院の会 合同病院説明会
看護学部・リハビリテーション学部の4年生を主な対象とした合同病院説明会が本学で開催されました。

国家試験の結果と進路

本学合格率　全国平均　(%)

学部学科	国家試験　資格合格率	本学合格率	全国平均	就職率	主な就職先など
看護学部	第100回　看護師国家試験資格合格率	100%	96.4%	100%	・兵庫医科大学病院 ・地方独立行政法人神戸市民病院機構 ・西神戸医療センター
	第97回　保健師国家試験資格合格率	82.3%	89.7%		
	第94回　助産師国家試験資格合格率	100%	98.2%		
理学療法学科	第46回　理学療法士国家試験資格合格率	95.0%	78.5%	100%	・兵庫医科大学病院 ・兵庫医科大学ささやま医療センター
作業療法学科	第46回　作業療法士国家試験資格合格率	94.4%	79.6%	100%	・医療法人朗源会おおくまリハビリテーション病院 ・兵庫医科大学病院

最近の主な出来事

12月 December

4	■兵庫医療大学	推薦入学試験 (併願制Ｂ日程・12月10日合格発表)	
7	■兵庫医療大学	学生相談室イベント withキャリアデザインセンター(7、9日)	➡
9	■兵庫医科大学	実験動物慰霊祭	➡
16	■兵庫医科大学	大学院学位授与式	P9
26	■兵庫医療大学	薬学共用試験(OSCE)	P18

2月 February

1	■ささやま老人保健施設	ささやま居宅介護支援事業所オープン	P14
2	■兵庫医療大学	一般入学試験 (前期Ａ日程・2月10日合格発表)	P16
3	■兵庫医療大学	一般入学試験 (前期Ｂ日程・2月10日合格発表)	P16
5・6	■兵庫医科大学	一般入学試験 (2次試験・2月14日合格発表)	P11
9	■兵庫医療大学	知的財産セミナー(テーマ:「大学と特許」)	
11	■兵庫医療大学	大学院入学試験(2月21日合格発表)	P17
12	■兵庫医科大学	エコチル調査 市民公開講座(アルカイックホール・ミニ)	P12
12・13・14	■兵庫医科大学	第105回医師国家試験(3月18日合格発表)	
15	■兵庫医療大学	兵庫医科大学病院・ ささやま医療センター病院説明会	➡
17	■兵庫医科大学	大学入試センター試験利用入学試験 (2次試験・2月22日合格発表)	P11
	■兵庫医療大学	第94回助産師国家試験(3月25日合格発表)	
		社会人スキルガイダンス	
18	■兵庫医科大学	大学院医学研究科入学試験 (後期・3月11日合格発表) 及び課程を経ない学位申請者に対する 外国語試験(第58回・3月11日合格発表)	P11
	■兵庫医療大学	第97回保健師国家試験(3月25日合格発表)	
19	■兵庫医科大学	共用試験(OSCE)	
	■兵庫医療大学	一般入学試験 (前期Ｃ日程・2月25日合格発表)	P16
20	■兵庫医療大学	第100回看護師国家試験(3月25日合格発表)	
21	■学校法人兵庫医科大学	急性医療総合センター地鎮祭	P23
25	■学校法人兵庫医科大学	学校法人兵庫医科大学連携病院の会	P24
26	■兵庫医療大学	一般入学試験(後期日程・3月8日合格発表)	P16
27・28	■兵庫医療大学	第46回理学療法士国家試験/ 第46回作業療法士国家試験 (3月31日合格発表)	

4月 April

1	■学校法人兵庫医科大学	入職式	
	■兵庫医科大学	大学院入学式	P10
4	■兵庫医科大学	入学式	
5	■兵庫医療大学	入学式	P15
	■兵庫医療大学	大学院入学式	

1月 January

8	■兵庫医療大学	学校法人兵庫医科大学リハビリテーション 関連施設第1回合同セミナー開催	P19
14	■兵庫医科大学	学生トリアージ訓練	
	■兵庫医科大学病院	平成22年度防災訓練	➡
17	■兵庫医療大学	阪神・淡路大震災(1.17)から学ぼう	
19	■兵庫医科大学	兵庫医科大学 第6回レクチャーシップ 知の創造	➡
21	■兵庫医療大学	実験動物慰霊祭	➡
24・25	■兵庫医科大学	共用試験(CBT)	
26	■兵庫医科大学	一般入学試験 (1次試験・2月3日合格発表)	P11
27	■兵庫医科大学	兵庫エコチル調査運営協議会	P12
31	■兵庫医療大学	薬学共用試験(CBT)	P18

3月 March

3	■兵庫医科大学	卒業式	P9
4	■ささやま老人保健施設	消防訓練	P14
7	■兵庫医療大学	退職記念講演会	P19
13	■兵庫医療大学	卒業式	特集
16	■兵庫医療大学	全学FD	
	■兵庫医科大学	退職記念講演会	P12

国家試験結果速報

国家試験の結果が発表されました。
兵庫医科大学、兵庫医療大学(看護学部・リハビリテーション学部)の結果は下記のとおりです。

第105回医師国家試験(3月18日合格発表)

	受験者数	合格者数	合格率
新卒者	104 人	94 人	90.4 %
既卒者	7 人	4 人	57.1 %
総数	111 人	98 人	88.3 %

第100回看護師国家試験、第97回保健師国家試験、第94回助産師国家試験(3月25日合格発表)

	受験者数	合格者数	合格率
看護師	110人	110人	100%
保健師	113人	93人	82.3%
助産師	9人	9人	100%

第46回理学療法士国家試験、第46回作業療法士国家試験(3月31日合格発表)

	受験者数	合格者数	合格率
理学療法士	40人	38人	95.0%
作業療法士	36人	34人	94.4%

12/7・9 ■兵庫医療大学
学生相談室イベントwithキャリアデザインセンター ～自分の興味と心理的傾向を知って、キャリアデザインに活かそう～

Ｐ棟２階オクタホール横の「くつろぎスペースひだまり」において、イベントが行われました。今回はキャリアデザインセンターと合同で開催。「簡単な心理テストを用いて自分自身の職業への興味を知る」という企画で、両日で２２名の学生が参加しました。学生たちは午後のひと時、ティータイムを楽しみながら、職業について興味のある分野、好みに反映された分野以外の心理的諸傾向などを知り、将来の選択に関してどんなヒントが得られるか、という視点で心理テストの結果を確認していました。

12/9 ■兵庫医科大学
第３８回実験動物慰霊祭

９－１講義室において、第３８回実験動物慰霊祭が執り行われました。本学では、医学教育・研究及び医療の向上のために尊い命を捧げてくれた多くの実験動物の御霊に対して感謝の意を表すため、毎年１２月に実験動物慰霊祭を執り行っています。全員黙祷の後、研究者を代表して荒田 晶子准教授(生理学(生体機能部門))による慰霊の詞が捧げられた後、代表者に続いて参列者全員が献花を行い、動物の御霊が安らかならんことを祈りました。

1/14 ■兵庫医科大学病院
平成２２年度防災訓練

大規模災害の発生により、多数の負傷者が当院に搬送されてきた場合を想定して訓練が行われました。医師、看護師、コメディカル等の医療従事者、事務員、患者役に扮した学生(４年生)など約２００名が参加し、負傷者の受け入れ体制の訓練とともに、スタッフマニュアル(多数傷病者対応・初動計画)及び各部門のアクションカードの検証を行いました。また、当日午前の授業では９号館５階講義室において学生(４年生)がトリアージ訓練を行いました。

1/19 ■兵庫医科大学
兵庫医科大学第６回レクチャーシップ「知の創造」を開催

平成記念会館において、株式会社バイオファーム研究所の代表取締役所長 遠藤 章先生に「スタチンの発見と開発」をテーマにご講演いただきました。遠藤先生は２００８年にラスカー臨床医学研究賞を受賞されています。レクチャーシップ「知の創造」は、国際的に著名な研究者の講演を生で聞き、本学の研究レベルの向上、研究マインド醸成の一助となることを目的に毎年開催しており、当日は教職員・医学部生、大学院生など約６００名が参加しました。

1/21 ■兵庫医療大学
第３回実験動物慰霊祭

オクタホールにおいて、第３回実験動物慰霊祭が執り行われました。式には動物実験に関わった教職員並びに薬学部３年生と１年生全員が出席し、黙祷の後、動物実験実施教員を代表して薬学部伊藤崇志助教が慰霊の詞を述べました。続いて代表者による献花を行い、参列者全員が教育、研究のために尊い命を捧げてくれた動物の御霊の安らかならんことを祈りました。

2/15 ■兵庫医療大学
兵庫医科大学病院・兵庫医科大学ささやま医療センター合同病院説明会

Ｍ１１３講義室において、看護学部３年生を対象に兵庫医科大学病院・兵庫医科大学ささやま医療センター合同の就職説明会が実施されました。説明会では、各病院の看護部長による病院概要や教育制度の説明、入職１年目の先輩看護師による体験談や学生へのメッセージ、採用担当者による募集要項の説明が行われました。続いて個別相談会も行われ、学生は熱心に質問をしていました。

東日本大震災について

学校法人兵庫医科大学

平成２３年３月１１日午後に発生した東北地方太平洋沖地震及びその直後の津波により、甚大な被害を受けられた皆様に心からお見舞い申し上げますとともに、犠牲になられました方々に対して、深い哀悼の意を表します。

学校法人兵庫医科大学は、平成７年１月の阪神・淡路大震災時に被災し、大きな被害を受けましたが、全国各地から寄せられましたご支援のお陰で復興を果たしました。当時私たちが受けたご恩に報いるべく、東北・関東地方の被害を受けられた方々へ、医療支援をはじめとする多角的な支援を全力で実施しています。

余震や原子力発電所の被災など不安な日が続きますが、一人でも多くの方が元気を取り戻され、一日も早い復興を果たすことができるよう、本法人を挙げてさらなる支援をしてまいります。

平成２３年３月１１日からの本法人の動き（３月３１日現在）

災害派遣医療チーム（DMAT）

３月１１日　・厚生労働省からの要請により、災害派遣医療チーム（DMAT）派遣を決定

３月１２日　・自衛隊機により兵庫医科大学の医師２名、看護師１名、臨床工学技士１名、放射線技師１名の計５名が岩手県花巻空港に到着

・花巻空港内に特設された「SCU（Staging Care Unit：広域搬送拠点医療管理所）」内で医療活動に従事

３月１３日　・重症患者を、航空機により花巻空港から羽田空港へ搬送し、西宮に戻る

SCUで活動するＤＭＡＴ

救護医療チーム

３月１５日　・**兵庫医大Ａチーム**（救護医療チーム　医師２名、看護師２名、薬剤師１名、事務員１名の計６名）を編成、福島県内の避難所へ派遣

３月１６日　・福島県内の避難所で医療活動を実施

３月１７日　・兵庫県からの要請を受け、救護活動地域を宮城県石巻市に移し、現地避難所にて医療活動を実施

・**兵庫医療大学薬学部の教員**（薬剤師）１名がAMDA（国際医療ボランティア組織）医療チームの一員として被災地へ向けて出発。岩手県釜石市、上閉伊郡大槌町にて医療活動を開始

３月１８日　・**兵庫医大Ｂチーム**（医師２名、看護師２名、薬剤師１名、事務員１名の計６名）を編成、宮城県石巻市内の避難所へ派遣

３月２０日　・**兵庫医大Ａチーム**が被災地（宮城県石巻市）での救護医療活動を終え、西宮に戻る

３月２１日　・**兵庫医大Ｂチーム**が被災地（宮城県石巻市）での救護医療活動を終える

３月２２日　・**兵庫医科大学ささやま医療センターの医療支援スタッフ**（医師、看護師、薬剤師、事務員各１名の計４名）が宮城県気仙沼市で医療支援を行うため出発

３月２３日　・AMDA医療チームに帯同していた**兵庫医療大学の薬学部教員**（薬剤師）が、岩手県釜石市、上閉伊郡大槌町での救護医療活動を終える

３月２６日　・**兵庫医科大学ささやま医療センターの医療支援スタッフ**が宮城県気仙沼市での救護医療活動を終え、篠山に戻る

避難所で活動する兵庫医大Ａチーム

避難所で活動する兵庫医大Ｂチーム

篠山市役所で篠山市長に報告する
ささやま医療センターのスタッフ

被災地域に対する学生支援

大学コンソーシアムひょうご神戸の会員校である兵庫医療大学は、被災地域で通学不能などにより就学が困難な大学生を対象に、学費無償とともに宿泊先の確保等の生活支援も含めて「疎開留学」として各学部（薬学、看護、リハ）数名受け入れることを表明しました。

兵庫医科大学学生会とボランティアクラブ「With You」が中心となっての支援活動

・学務部事務所内に募金箱を設置し、義援金を募る

・生活物資（毛布、下着類、紙おむつ、粉ミルク）を「日本医学生協会（JAMSA）」を経由して被災地に届ける

教職員に対して、義援金の呼びかけ

・法人事務所内に募金箱を設置

・兵庫医療大学オフィス内に募金箱を設置

来院者に対して、義援金の呼びかけ

・兵庫医科大学病院総合案内、入院受付に募金箱を設置

「救いたい」支援懸命

被害の大きさに衝撃

県内医療機関DMAT「体温維持に苦慮」

花巻空港内で負傷者の応急治療に当たる医師ら＝岩手県花巻市（兵庫医科大病院提供）

東日本大震災で、被災地入りしていた兵庫医科大病院（西宮市）など兵庫県内医療機関の災害派遣医療チーム（DMAT）の一部が11日、2日間の活動を終え、それぞれの病院に戻った。各チームのリーダーたちは「役目を果たせた」と活動の成果を振り返りながらも、「被災者の多くが、被害の大きさにほうせんとしていた」と、壮絶な現地の様子を語った。

兵庫医科大病院のチームは医師2人、看護師、臨床工学技士、放射線技師各1人の計7人、12日早朝に自衛隊機で大阪（伊丹）空港を出発し、岩手県・花巻空港内にある消防の車庫を使った「広域搬送拠点医療管理所」（SCU）に入り、13日夜まで負傷者の救命救急などに当たった。

同日時点でSCUには、全国からDMAT計65チームが集まった。練度に差を生まれた低体温の人、家屋倒壊などによる負傷者、病院が被害に遭い行き場を失った患者らが多数運び込まれといい、応急治療後、症状などに応じて地元の病院に転送。重症患者ら計8人は、自衛隊機2機で被災地外へ搬送した。

チームリーダーの久保山一敏医師（46）は「災害現場への派遣は初めてだが、役割は果たせたと思う」と話していた。

同じくSCUで治療に当たった県立姫路循環器病センター（姫路市）のチーム（4人）は、帰宅中、何度も強い余震に見舞われたという。被災地では発電が絶いており、に入った公立豊岡病院の医師らは、小林誠人・医療部長らの体温を温めることにも気を遣った。

チームは、小林誠人・医療部長らの体温を温めることにも気を遣った。

ドクターヘリで被災地病院などへ搬送した。

医師と看護師の計4人、律儀に巻き込まれ、クラッシュ症候群になった男性ら4人を、宮城県の自衛隊駐屯地から山形県の病院などへ搬送したという。

（網・厚子、三木良太、西井由紀子）

平成23年3月15日神戸新聞掲載記事

「津波で薬不足」訴え

兵庫医大チーム被災地から帰任

3日で160人診察

東日本大震災の被災地で活動をした兵庫医科大学病院の救護医療チームが20日に帰任し、西宮市の同病院で活動を振り返った。チームのリーダーで循環器内科医の川端正明さん（54）は「阪神大震災では、がれきの中から薬を取り出せたが、今回は津波で流されてしまった」と述べ、慢性病や高血圧など慢性疾患の患者を中心に、薬が不足している避難所の窮状を訴えた。

医師、看護師各2人と薬剤師、事務員各1人の6人が16日に出発。福島県郡山市と宮城県石巻市の避難所で3日間、約160人を診察した。

川端さんは阪神大震災の時も神戸市東灘区で医療活動に携わった。「阪神と比べ、避難所に薬や物資が圧倒的に不足していたという。患者の3人に2人が慢性疾患を抱えていたが、約6割の患者が投薬歴を記録した「お薬手帳」を持っていたのが診察で役立った。非常時に病院を一から聞いていたら、多くの患者を診るのに時間が足りない。「手帳のおかげですぐに病気が判断でき、助かった」

下痢や嘔吐を訴える子どもも目立った。言葉が出ない子もいた。「精神的なダメージを受けたうえ、水や電気がなくて不衛生なトイレが影響しているのでは。これから精神的なケアが必要になる」と話した。（森直由）

平成23年3月21日朝日新聞掲載記事

このページの無断転載を禁じます

兵庫医科大学　第３４回卒業式

平成２３年３月３日、平成記念会館において兵庫医科大学第３４回卒業式が執り行われました。１０５名が卒業の日を迎え、ここに、兵庫医科大学から３，４８４名の卒業生を送り出すことになります。

式は開式の辞、校歌斉唱に始まり、中西学長から卒業生一人ひとりへ学位記が授与された後、森村賞授与、学長式辞、来賓祝辞、学生会活動功労賞授与、在学生代表送辞、卒業生代表答辞、「仰げば尊し」の斉唱が行われました。

中西学長は「医療・医学は激動の時代を迎えており、医師には叡智と情熱が求められています。皆さんには６年間を誇りに思い、自信を持ってベストを尽くしてほしい。それが本学の発展にも繋がります」と卒業生にエールを送りました。また、卒業生の坂本 明香さんは「勉強とクラブ活動の両立は大変でしたが、メリハリがついてよかった。患者さんやご家族に信頼される医師を目指してこれからも頑張りたい」と希望に満ち溢れていました。

在学生代表送辞
川知（かわち）　祐介（ゆうすけ）さん

卒業生代表答辞
岡山（おかやま）　矩実子（くみこ）さん

【森村賞】
優秀な成績をもって卒業する者に贈られるもので、平成22年度卒業試験の成績とこれまでの成績の推移、課外活動等において総合的に優秀な成績を収めた（左から）山川（やまかわ）　皓（あきら）さん、坂本（さかもと）　明香（はるか）さんに授与されました。

【学生会活動功労賞】
課外活動およびボランティア活動等で６年間を通じて顕著な実績をあげた者に贈られるもので、（左から）中村（なかむら）　晃史（こうし）さん、馬場口（ばばぐち）　由佳（ゆか）さん、上村（うえむら）　尚（ひさし）さんに授与されました。

学位授与

氏　　名	専攻系／科目名	博　士　論　文　名	報告番号	授与年月日
中山　寛	医科学専攻	Resveratrol induces apoptosis MH7A human rheumatoid arthritis synovial cells in a sirtuin 1-dependent manner （ResveratrolはsirtuinーI依存性にMH7Aヒトリウマチ滑膜細胞アポトーシスを誘導する）	甲第551号	H22.10.7
小畔　美弥子	総合診療内科学	Apathy and depression in Parkinson disease （パーキンソン病におけるアパシーとうつ）	乙第322号	H22.11.4
沖村　明	機能病理学	Expression of adhesion molecules and transforming growth factor-β in pleomorphic carcinomas of the lung （肺多形癌における細胞接着因子、ransforming growth factor-βの発現）	乙第323号	H22.12.2

平成２３年度　兵庫医科大学　入学式

平成２３年４月４日、平成記念会館において兵庫医科大学入学式が執り行われ、平成２３年度新入生が入学しました。

開式に先立って、この度の東日本大震災により犠牲になられた方々へのご冥福を祈り、全員で黙祷をささげました。

式では、学長式辞に続き、新入生代表が入学宣誓を行った後、新入生全員が一人ずつ壇上にて誓約書を中西学長に手渡しました。次いで、来賓祝辞、校歌斉唱が行われました。式の後、保護者の方々にはノボテル甲子園で保護者説明会にご参加いただきました。新入生は同日午後から順次オリエンテーションに参加し、６日から授業を開始しました。

新入生代表「入学宣誓」
井奥（いおく）　杏奈（あんな）さん

学長室にて

【成績優秀賞　授与】
平成２２年度の第１学年次～第５学年次の学業成績において、最も優れた成績を収めた学生に中西学長から成績優秀賞が授与されました。

１学年次　佐々木（ささき）　絢子（あやこ）さん（写真左から５番目）
２学年次　今中（いまなか）　智子（ともこ）さん（同４番目）
３学年次　中川（なかがわ）　頌子（しょうこ）さん（同２番目）
４学年次　槌家（つちや）　聡子（さとこ）さん（同１番目）
５学年次　松尾（まつお）　祥平（しょうへい）さん（同６番目）

平成２３年度　兵庫医科大学大学院　入学式

平成２３年４月１日、９－２講義室において平成２３年度大学院医学研究科入学式が執り行われ、４６名（うち３８名が夜間履修学生）が入学しました。

専攻	分野	授業科目名	人　数	夜間履修者の有無
医科学専攻	器官・代謝制御系	循環器病学（増山主任教授）	5（1）	有
		上部消化管疾患学	4（2）	有
		下部消化管疾患学	1	無
		内分泌代謝学	1	有
		糖尿病学	1	有
		腎臓病学	2（2）	有
		産科学婦人科学	2（2）	有
		口腔科学	2	無
		総合診療内科学	1	有
	高次神経制御系	神経生物学	1（1）	有
		生体情報学	2	有
		神経内科学	1	有
		神経精神医学	3（1）	有
		整形外科学	2	有
		麻酔科学	1	有
		耳鼻咽喉科学・頭頸部外科学	1（1）	有
		神経眼科学	4（2）	有
		リハビリテーション科学	1	有

専攻	分野	授業科目名	人　数	夜間履修者の有無
医科学専攻	生体応答制御系	分子病理学	1（1）	有
		病院病理学	1（1）	有
		小児科学	1	有
		救急集中治療医学（小谷主任教授）	1	有
		救急集中治療医学（西主任教授）	1（1）	有
		臨床腫瘍薬剤制御学	1	有
	生体再生制御系	形成外科学	1	有
	環境病態制御系	環境病態医学	1（1）	有
		公衆衛生学	2（1）	有
高次神経制御系	疼痛情報制御系	疼痛神経科学	1	無
合　計			46（17）名	

（　）：女子内数

平成２３年度兵庫医科大学入学試験　結果

一般入学試験　募集人員：約８０名

１次試験　試験日：平成２３年１月２６日（水）
試験科目：数学、外国語、理科（物理・化学・生物から２科目選択）

試験会場	平成２３年度				平成２２年度
	合計	大阪会場（インテックス大阪）	東京会場（五反田ＴＯＣビル）	福岡会場（福岡商工会議所）	
志願者数	２，４３８	１，５００	５２４名	４１４名	２，２４８名
受験者数	２，２２８	１，４００	４４３名	３８５名	２，１００名

合格発表日　：平成２３年２月３日（木）
合格者数　：５５２名

２次試験　試験日　：平成２３年２月５日（土）又は６日（日）の選択制
試験科目　：小論文、面接
試験場所　：兵庫医科大学
受験者数　：５１２名（欠席者数：４０名）
合格発表日　：平成２３年２月１４日（月）
正規合格者数：８２名／補欠者数：２７８名

大学入試センター試験利用入学試験　募集人員：約１０名

１次試験　試験日　：大学入試センター試験日
志願者数　：７６６名／受験者数：７６０名
試験場所　：大学入試センター指定の試験会場
合格発表日　：平成２３年２月１０日（木）
合格者数　：２５１名

２次試験　試験日　：平成２３年２月１７日（木）
試験場所　：兵庫医科大学
受験者数　：１３７名　（欠席者数：１１４名）
合格発表日　：平成２３年２月２２日（火）
正規合格者数：１０名／補欠者数：７４名

平成２３年度兵庫医科大学大学院入学試験　結果

医学研究科入学試験（後期募集）

試験日　：平成２３年２月１８日（金）
試験場　：兵庫医科大学
選考方法　：外国語試験
合格発表日　：平成２３年３月１１日（金）

受験者数	３８名
合格者数	３７名

課程を経ない学位申請者に対する外国語試験（第５８回）

試験日　：平成２３年２月１８日（金）
試験場　：兵庫医科大学
選考方法　：外国語試験
合格発表日　：平成２３年３月１１日（金）

受験者数	６名
合格者数	４名

退職記念講演が行われました

平成２３年３月１６日、本年度末で定年退職される主任教授、教授の退職記念講演会が９－２講義室で行われました。長年にわたる教育・研究・診療や兵庫医科大学での思い出を振り返りながらのご講演に、多くの教職員・学生が聴き入りました。

定年退職される先生と講演のテーマ

生物学　塚本　吉彦 主任教授
「網膜神経回路の電顕的研究とベネット先生の回顧」

生理学（生体情報部門）　永田　徹 教授
「見えていても見えない」

病理学（分子病理部門）　西上　隆之 教授
「遺伝性の消化管疾患」

先端医学研究所　生体防御部門　岡村　春樹 主任教授
「一つ語り」

塚本主任教授

永田教授

西上教授

岡村主任教授

「子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）」運営協議会、市民公開講座を開催

子どもの成長や発達に対する生活環境中の化学物質などの影響が懸念されるなか、環境省が平成２２年度より「子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）」を開始しました。この調査は全国１５地域で１０万組の子どもとそのご両親に参加・協力してもらい、子どもの妊娠中から生まれて１３歳になるまで定期的に健康状態を調査し、環境中の物質や生活習慣などが子どもたちの成長や発達にどのように影響するかを解明する、大規模で長期的なものです。

兵庫県においては尼崎市が調査対象地域となり、兵庫医科大学内に公衆衛生学、産科婦人科、小児科を中心としたエコチル調査兵庫ユニットセンター（センター長：島　正之 公衆衛生学 主任教授）を設置し、尼崎市や医師会と連携しながら３年間で６，６００人の妊婦さんにご協力いただいて調査を進めます。阪神地区の協力医療機関において出産予定日が平成２３年８月１日以降の妊婦さんを対象に、平成２３年２月から調査協力者の募集を開始しました。

また、尼崎市、医師会、協力医療機関等との連携を目的とした兵庫エコチル調査運営協議会を設置し、第１回協議会（平成２３年１月２７日、ホテルニューアルカイック）を開催しました。ＰＲイベント（２月５日、ＣＯＣＯＥあまがさき）、市民公開講座（２月１２日、尼崎アルカイックホール・ミニ）なども開催し、エコチル調査の概要説明やＰＲ活動を行っています。

エコチル調査市民公開講座では女優の千堂あきほさん（尼崎市出身）の子育てトークや、尼崎市少年音楽隊合唱隊による合唱、食生活や環境問題、エコチル調査に対する期待などについて、パネルディスカッションが行われました。

パネルディスカッションに参加する島主任教授（左）と小森主任教授（右）

病院機能評価の再認定（Ver.6）を受ける

平成２２年１２月１８日に認定期間が満了となる日本医療機能評価機構の病院機能評価に関して、平成２２（２０１０）年１２月１９日～平成２７（２０１５）年１２月１８日の有効期間で、再認定されました（Ver.６）。

再受審は、平成２２年９月２９日～１０月１日の３日間でサーベイヤ７名による訪問審査を受けました。初日（9/29）は書類確認が行われ、２日目（9/30）は合同面接調査、領域別面接調査（診療領域、看護領域、事務管理領域）並びに病棟訪問、領域別部署訪問による訪問審査が行われました。また、最終日の３日目（10/1）は病棟訪問、領域別部署訪問が引き続き行われ、最後に全体講評が行われました。

その後、同年１１月１７日付で中間的な結果報告があり、中項目（５段階評価）で評価２以下（評価２は適切さにやや欠ける、評価１は適切でない）となった項目はありませんでした。さらに、最終結果報告では、「前回の病院機能評価の受審以降、がんセンター、PETセンター、肝疾患センター、健診センター、IBDセンター等を設置し、高度で先進的な医療の提供を図っており、理念に基づき、医療の質や安全管理に対する体制整備に努力し、病院長を先頭として全職員が一丸となって点検と改善に努めている」旨の評価がなされました。

今回の再受審に至る経過は、平成２１年５月開催の病院部長会において再受審することを決定し、病院長を統括責任者とし、谷澤診療部長を統括副責任者として、各領域の責任者を院長、副院長を中心としてとりまとめを行う体制で準備を進めました。

認定証
Certificate of Accreditation

認定第JC756-2号
Accreditation Number

審査体制区分4
（ver.6.0）
Assessment system division 4

病院名
Hospital Name
兵庫医科大学病院　殿
Hyogo College of Medicine College Hospital

貴病院が日本医療機能評価機構の定める認定基準を達成していることを証する
This is to certify that the above hospital has demonstrated satisfactory compliance with the applicable JCQHC accreditation standards.

認定期間：2010年12月19日～2015年12月18日
December 18,2010-December 18,2015

発行日：2011年1月7日
Issue Date : January 7,2011

財団法人 日本医療機能評価機構　理事長　井原　哲夫
Japan Council for Quality Health Care　Chairman of the Board

その後、各部署に病院機能評価再受審の担当者を配置し、その中で各領域毎に評価項目に基づき自己評価を行い、その結果に基づき必要な項目について改善を行い準備を進めました。また、平成２２年６月からは、院長・副院長が先頭に立って病棟や各部署をラウンドし、評価項目に準じてチェックを行いました。

再受審決定から訪問審査まで１年弱でしたが、６月の院長・副院長クラスによる各部署ラウンド開始あたりから各部門の士気も高まり、病院一丸となって再受審に臨んだことが、留保ではなく一度での認定につながったものと考えます。

今後は、これを励みに評価項目に沿った運営を継続し、さらに５年後の「認定更新」を目指します。

なお、今回の再受審の結果報告（総括・領域別）につきましては、当院のホームページの「日本医療機能評価機構認定」から参照できます。

平成２２年度医療安全相互ラウンドの実施

平成２３年１月２７日、福岡大学病院の医療安全管理ご担当の６名の教職員が来院され、また２月３日には本学病院の医療安全管理担当７名が福岡大学病院を訪問し、医療安全の質向上のための創意工夫に関して、互いの病院の情報収集を行うとともに意見交換を行いました。

（社）日本私立医科大学協会では医療安全対策のより一層の推進を図るため、平成１８年度より加盟大学附属病院間における医療安全相互ラウンド（以下「相互ラウンド」）が実施されています。これまでは全国６ブロックに分けての地域ブロックにおける相互ラウンドでしたが、平成２２年度から東西２ブロックに分け、相互ラウンドの拡充を図るため、１対１のラウンド方式に変更され、本学病院は福岡大学病院との組み合わせとなりました。

兵庫医科大学ささやま居宅介護支援事業所を開設

平成２３年２月１日、介護を必要とされる方々に対して、体調や生活スタイルを踏まえた適切な介護サービスを提供するために、兵庫医科大学ささやま居宅介護支援事業所を開設しました。兵庫医科大学の建学の精神である「社会の福祉への奉仕」を実践すべく、篠山の地での活動を開始します。兵庫医科大学ささやま医療センター及びささやま老人保健施設と連携しながら、質の高い介護サービスを目指します。

事業所概要

受付　　月～金曜日　８：３０～１７：００
場所　　兵庫県篠山市黒岡３６番地（兵庫医科大学ささやま老人保健施設内）
電話　　０７９-５５２-３５１９（直通）

利用対象者

・６５歳以上の方で、介護保険における要介護、要支援の認定を受けられた方
・４０歳から６４歳までの方で、脳血管疾患などの老化に起因する疾病等（特定疾病：１６種類）により介護保険における要介護・要支援の認定を受けられた方

サービスの内容（居宅介護支援／介護予防支援）

要介護、要支援と認定された方に対して、介護支援専門員（ケアマネージャー）が要介護者等の心身の状況、環境、要介護者や家族の希望を勘案し、利用者が自宅において日常生活を営むために必要な「居宅サービス計画」「介護予防サービス計画」を作成します。また、その計画に基づき、各サービス提供が行われるように各介護保険サービス事業所との連絡、調整を行います。

平成２２年度第２回篠山キャンパス消防訓練を実施

平成２３年３月４日、ささやま医療センター及びささやま老人保健施設の平成２２年度第２回消防訓練を実施しました。ささやま医療センターでは、深夜帯に３階西病棟食堂・デイルームから出火、ささやま老人保健施設では、同じく深夜帯に３階３０８号室から出火したことを想定して訓練が行われました。

訓練後、篠山市消防本部から、「医療センターは、もっと大きな声でテキパキと指示を出すべき」「老健は、応援救助者の動きに戸惑いがあったことから、応援救助者の中でリーダーを作り役割分担を図るべき」等の指摘がありました。次回以降は、これらの指摘に改善を加えてさらに実のある訓練にしたいと考えています。

平成２３年度兵庫医療大学 入学式
初の兵庫医療大学大学院 入学式も同時開式

晴天に恵まれた平成２３年４月５日、ポートピアホテルにおいて平成２３年度兵庫医療大学 入学式が執り行われ、薬学部１７１名、看護学部１１０名(編入学者２名含む)、リハビリテーション学部８９名(理学療法学科４４名、作業療法学科４５名)の合計３７０名が入学しました。また、平成２３年度より新たに開設された大学院の入学式も併せて行われ、看護学研究科８名、医療科学研究科９名が入学しました。

開式に先立って、この度の東日本大震災により犠牲になられた方々へのご冥福を祈り、全員で黙祷をささげました。

式では、松田学長による入学許可宣言・入学宣誓の後、一人ずつ名前を読み上げられた新入生は、元気のよい返事を会場に響かせました。続いて、新入生代表が入学宣誓を行いました。次いで、学長式辞、兵庫医科大学 中西学長祝辞、祝詞・祝電披露、ご来賓の紹介、校歌斉唱が行われました。

式の後、保護者の方々には同会場で行われた保護者説明会にご参加いただきました。新入生は同日午後から順次オリエンテーションに参加し、１１日から授業を開始しました。

新入生代表 入学宣誓　薬学部 青木（あおき） 公香（ゆきか）さん

大学院
酒井（さかい） 賀世（かよ）さん

看護学部
吉本（よしもと） 龍矢（りゅうや）さん

リハビリテーション学部
笠松（かさまつ） 朋枝（ともえ）さん

平成２３年度兵庫医療大学大学院　入学者内訳

	分野	特定分野	人数
看護学研究科	療養支援	急性看護学	2
		精神看護学	1
	家族支援	小児看護学	1
		母性看護学	3
	生活支援	在宅看護学	1
	合計		8(8)

(　): 女子内数

	分野	コース	人数
医療科学研究科	病態運動学	運動器系障害治療学	2
		生活活動支援学	5
	人間活動科学	身体・認知活動学	1
		精神・心理	1
	合計		9(1)

(　): 女子内数

平成２３年度兵庫医療大学　一般入学試験　結果

一般入学試験

前期Ａ日程　試験日：平成２３年２月２日(水)　　合格発表日：平成２３年２月１０日(木)
試験場：＜薬学部、リハビリテーション学部＞　兵庫医療大学
＜看護学部＞　神戸ポートアイランドホール(通称＝ワールド記念ホール)

学部学科	試験科目	募集人員	志願者	受験者	合格者	実質倍率
薬学部　医療薬学科	外国語、数学、理科(化学)	４０名	１８９名	１８２名	８０名	２.３倍
看護学部　看護学科	外国語、国語、理科(化学、生物から１科目選択)	５７名	５７５名	５５２名	１２２名	４.５倍
リハビリテーション学部 理学療法学科	外国語、数学、理科(化学、生物から１科目選択)	約２５名	２３４名	２２９名	４１名	５.６倍
リハビリテーション学部 作業療法学科	外国語、国語、理科(化学、生物から１科目選択)	約１２名	５９名	５９名	１９名	３.１倍

前期Ｂ日程　試験日：平成２３年２月３日(木)　　合格発表日：平成２３年２月１０日(木)
試験場：兵庫医療大学

学部学科	試験科目	募集人員	志願者	受験者	合格者	実質倍率
薬学部　医療薬学科	外国語、理科(化学)	２５名	９９名	９５名	５５名	１.７倍
リハビリテーション学部 作業療法学科	外国語、数学、理科(化学、生物から１科目選択)	約８名	６０名	５８名	２２名	２.６倍

前期Ｃ日程　試験日：平成２３年２月１９日(土)　　合格発表日：平成２３年２月２５日(金)
試験場：兵庫医療大学

学部学科	試験科目	募集人員	志願者	受験者	合格者	実質倍率
薬学部　医療薬学科	理科(化学)、外国語・数学(１教科選択、２教科を受験した場合は高得点の１教科を合否判定に使用)	１５名	７２名	６６名	３８名	１.７倍

後期日程　試験日：平成２３年２月２６日(土)　　合格発表日：平成２３年３月８日(火)
試験場：兵庫医療大学

学部学科	試験科目	募集人員	志願者	受験者	合格者	実質倍率
薬学部　医療薬学科	外国語、数学、理科(化学)	１０名	５７名	３８名	２８名	１.４倍
看護学部　看護学科	外国語、国語、理科(化学、生物から１科目選択)	５名	９１名	８９名	６名	１４.８倍
リハビリテーション学部 理学療法学科	外国語、小論文、理科(化学、生物から１科目選択)	若干名	４５名	４３名	３名	１４.３倍
リハビリテーション学部 作業療法学科	外国語、小論文、理科(化学、生物から１科目選択)	若干名	１６名	１４名	３名	４.７倍

※実質倍率は「受験者数／合格者数」

大学入試センター試験利用入学試験　試験日：平成２３年１月１５日(土)、１６日(日)

前期日程　合格発表日：平成２３年２月１０日(木)

学部学科	試験科目	募集人員	志願者	受験者	合格者	実質倍率
薬学部　医療薬学科	理科①(化学Ⅰ)、理科②(生物Ⅰ、物理Ⅰから１科目選択)、英語(筆記・リスニング)	５名	４１名	４１名	１２名	３.４倍
看護学部　看護学科	国語(近代以降の文章)、理科(化学Ⅰ、生物Ⅰから１科目選択)、英語(筆記・リスニング)	５名	８５名	８５名	１３名	６.５倍
リハビリテーション学部 理学療法学科	国語(近代以降の文章)、数学①(「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学Ａ」から１科目選択)、数学②(「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学Ｂ」から１科目選択)、理科(化学Ⅰ、生物Ⅰ、物理Ⅰから１科目選択)、英語(筆記・リスニング) ※外国語、国語、数学、理科の４教科から３教科を選択、４教科を受験した場合は高得点の３教科を合否判定に使用	２名	６３名	６３名	８名	７.９倍
リハビリテーション学部 作業療法学科	国語(近代以降の文章)、数学(「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学Ａ」から１科目選択)、英語(筆記・リスニング)	２名	２０名	２０名	４名	５.０倍

後期日程　合格発表日：平成２３年３月２５日(金)

学部学科	試験科目	募集人員	志願者	受験者	合格者	実質倍率
看護学部　看護学科	国語(近代以降の文章)、理科(化学Ⅰ、生物Ⅰから１科目選択)、英語(筆記・リスニング)	３名	１１名	１１名	３名	３.７倍

※実質倍率は「受験者数／合格者数」

大学院設置について　－平成２３年４月より大学院を新たに開設－

看護学部、リハビリテーション学部が平成２２年度で完成年度を迎えたことに伴い、平成２３年４月より両学部で大学院研究科が開設されました。

本学大学院修士課程の目的は、大学の基本理念である次世代の医療を担う医療人の育成の趣旨を発展させることにあります。すなわち、優れた科学的知識と実践的能力を培い、創造性、科学性、そして広い視野をもって医療科学の新たな分野を開拓できる人材を育成することです。そのため、新たな展開を目指した研究領域と、社会の期待に対応すべく高度実践専門職者を育てる領域の二つの柱を置いています。

大学院研究科の構成は、「看護学研究科」「医療科学研究科（リハビリテーション科学領域）」の二つからなります。薬学部大学院の設置については、薬学部完成時（第１期生卒業時）の開設に向けて検討中です。

平成２３年２月１１日に初めての大学院入学試験を終え、４月から新たなスタートを切りました。

看護学研究科

看護学基礎研究領域と看護学課題研究・高度実践領域の２領域に分かれ、前者のカリキュラムは、基礎看護学や看護教育学をはじめとする看護学に特化した１０の専門領域のコースがあり、後者のカリキュラムは、専門看護師（高度看護実践者）をめざす人のために、急性・重症患者看護専門看護師分野やがん看護専門看護師分野などの４分野で構成されています。

大学院研究科講義室

医療科学研究科

コースワークを重視したカリキュラムとなっており、臨床現場での直接的指導（臨床研修）を含めた課題研究の実施が特色のひとつとなっています。幅広いリハビリテーション科学を念頭においた２分野（病態運動学、人間活動科学）６コース（中枢神経系障害治療学、運動器系障害治療学、生活活動支援学、身体・認知活動学、精神・心理、摂食・嚥下リハビリテーション学）体系を取り、研究者養成プログラムと高度実践専門職者育成プログラムの二本立てで構成されています。（摂食・嚥下リハビリテーション学コースに高度実践専門職者育成プログラムは設けていません）

大学院研究科自習室

平成２３年度兵庫医療大学大学院入学試験　結果

看護学研究科入学試験

試験日　：平成２３年２月１１日（金・祝）
試験場　：兵庫医療大学
選考方法　：外国語、専門科目、面接
合格者発表　：平成２３年２月２１日（月）

受験者数	８名
合格者数	８名

医療科学研究科入学試験

試験日　：平成２３年２月１１日（金・祝）
試験場　：兵庫医療大学
選考方法　：外国語、専門科目、面接
合格者発表　：平成２３年２月２１日（月）

受験者数	１２名
合格者数	９名

本学初の薬学共用試験「ＯＳＣＥ」「ＣＢＴ」を実施

薬学部４年生を対象として実施される薬学共用試験「ＯＳＣＥ」と「ＣＢＴ」が、兵庫医療大学で初めて行われ、１４７名が受験しました。平成２２年１２月２６日にＯＳＣＥ、平成２３年１月３１日にＣＢＴが実施され、ＯＳＣＥは１４７名、ＣＢＴは１４６名が合格しました。

ＯＳＣＥは調剤業務や監査、患者さんへの対応など、５学年次に行われる病院・薬局実務実習での業務に必要とされる技能の習得を確認する試験で、学外評価者の先生方にも多数お集まり頂きました。受験生は、午前と午後の２グループに分かれて、全部で６種の課題試験に臨みました。緊張した表情を浮かべながらも、学生は着実にそれぞれの課題をクリアしていました。

また、ＣＢＴは薬学生として必要な専門知識および実務実習にあたり必要な知識の確認をコンピュータを用いて行う試験で、受験生は真剣な面持ちでモニターに向かっていました。

評価者や模擬患者さんとしてご協力頂きました学外の方々に、厚くお礼申しあげます。

試験開始を待つ学生（OSCE）

神戸市教育研究会理科部会・講習会を開催

平成２２年１２月８日、神戸市立の高等学校で理科（化学、生物、物理、地学）を担当されている先生方の研究会である神戸市教育研究会理科部会の講習会を本学で開催し、６校から１８名の先生方が参加されました。

講習会では薬学部教員による講演「百聞は一計測に如かず」（前田 初男 教授）と実習「タンパク質を分離する-電気泳動-」（芝崎 誠司 准教授）及び「お茶の抗酸化力をはかる-蛍光分析-」（前田 初男 教授）を実施しました。また、講習会後に簡単な懇親会を開催し、「理科教育」について高等学校の先生方と薬学部教員が意見交換を行いました。これからも本学薬学部は様々な形で地域貢献をしていきたいと思います。

薬学部 南畝講師
第３回「臨床薬理研究振興財団 研究大賞」に選定される

「臨床薬理研究振興財団 研究大賞」を薬学部の南畝（のうねん） 晋平 講師が受賞し、平成２２年１１月８日、クラブ関東（東京丸の内）で表彰式と研究報告会が行われました。

この賞は、公益財団法人臨床薬理研究振興財団が、同財団の研究奨励金を受けた研究者が提出する研究報告書の中から、「革新的で且つ今後更なる発展が期待できる優れた研究」として表彰するものです。

「賞を頂いた研究は、心不全β遮断薬治療の効果の個人差を遺伝子情報により予測するというものです。この研究をさらに発展させ心不全個別化適正治療の実現につなげていけるよう、今後も精進していきたく思います。」（南畝 晋平）

退職記念講演が行われました

平成２３年３月７日、本年度末で退職される看護学部の大町 弥生教授（生活支援看護学）の退職記念講演がM棟１１３講義室で行われ、在学生、大学教職員および学外者など多くの方が聴講に集まりました。

講演会は土居 洋子看護学部長の司会で進められ、時に笑い声の起こる和やかな雰囲気の中、長年にわたる教育・研究・臨床経験や兵庫医療大学での思い出を振り返りながら、「大切なことは臨床看護から学んだ」と題し講演が行われました。

講演後、在学生をはじめ、大町教授が臨床現場で活躍されていた頃の患者さん、共に教育・研究に携わった先輩後輩の方々から温かい言葉を贈られた大町教授が、感極まる場面もありました。看護学部代表の学生やご参集いただいた方々から花束が贈呈され、別れを惜しむ拍手が鳴りやまぬ中、大町教授は会場を後にしました。

学校法人兵庫医科大学リハビリテーション関連施設 第１回合同セミナーを開催

平成２３年１月８日、兵庫医療大学オクタホールにおいて学校法人兵庫医科大学リハビリテーション関連施設第１回合同セミナーを開催しました。このセミナーは、兵庫医科大学リハビリテーション医学教室、兵庫医科大学病院・ささやま医療センターの各リハビリテーション部門、および兵庫医療大学リハビリテーション学部の施設・部門が、各々の教育・研究・診療に係る取り組みについて情報を交換・共有し、相互に研鑽を図ることを目的としています。各施設は、日常の活動の中で様々な連携を図っていますが、こうした全学的なセミナーによって組織的に相互交流を深めることで、連携を更に強固なものとし、教育・研究・診療の質を高め、リハビリテーションの発展に寄与していこうとするものです。

セミナーは、兵庫医療大学リハビリテーション学部土肥学部長による開会の挨拶に始まり、新家理事長、兵庫医科大学 中西学長からもご挨拶を頂き、兵庫医科大学リハビリテーション医学教室　道免主任教授による「先端医療としてのリハビリテーション～現状と今後の展望～」と題した基調講演を皮切りに、兵庫医科大学病院及びささやま医療センターの各施設におけるリハビリテーション医療並びに教育・研究、および医療大学における教育・研究についてそれぞれ講演があり、各部門の取り組みについて理解を深めました。また今回、関連病院の関係者の方々や、多数の兵庫医療大学在学生の参加もあり、盛況のうちに初回セミナーを終えることができました。

兵庫医療大学
リハビリテーション学部　土肥学部長

兵庫医科大学
リハビリテーション医学教室　道免主任教授

平成２３年度の主な取り組み

【平成２３年度の事業計画の重点施策】

・法人全体の将来計画の策定
・法人全体の財政状況の改善
・法人全体のICT化の推進
・兵庫医科大学病院急性医療総合センターの建設および運営計画の策定
・兵庫医療大学の優秀な入学生と卒業生の良好な就職先の確保
・ささやま医療センターの収益確保に向けた改革

Ⅰ．事業計画

１.兵庫医科大学

1）教育・研究に関する事業

（１）兵庫医科大学

①教育効果向上へのアクションプラン
②学位授与方針及び学位論文審査に係る改善への取組み
③国際交流活動の活性化への取組み
④教員に対するFDの充実・強化
⑤教員の自己評価に伴う多面評価の実施とインセンティブの導入
⑥医学教育センターの機能強化と組織体制の構築

2）診療に関する事業

（１）兵庫医科大学病院

①医療収入の確保（数値目標）
②急性医療総合センター開設に係る運営準備
③1号館病棟・6号館病棟の再編
④医師の負担軽減に係るメディカルクラークの配置
⑤医療経費削減
⑥看護師・助産師確保と離職防止
⑦電子カルテシステムの段階的導入（第２段階）
⑧病院情報システム（周辺システム）の更新

（２）兵庫医科大学ささやま医療センター

①必要な医療資源の確保による医療収入予算の達成
②地域医療への一層の貢献に向けた基盤づくり
③病院機能評価認定取得

（３）兵庫医科大学ささやま老人保健施設

①通所利用者拡大に向けたハード・ソフトの充実

２.兵庫医療大学

1）教育・研究に関する事業

①兵庫医療大学グランドデザインの策定
②大学院（博士課程）の設置認可申請準備と修士課程の充実
③カリキュラムの評価と改定による学部教育の充実
④入学試験制度の徹底検証と新戦略による入学試験の実施
⑤優良な就職先の確保と就職支援の強化
⑥国際交流の推進と交流プログラムの構築
⑦研究環境の整備と研究活動の活性化
⑧キャンパス有効利用による教育施設の確保と学生アメニティの向上
⑨兵庫医療大学における国家試験対策の強化と高合格率の達成
⑩法人事務機能との調整と神戸キャンパスオフィスの事務機能の再構築と強化
⑪自己点検・評価活動の強化と大学評価申請準備

３.法人部門

1）将来計画・経営安定化に関する事業

①西宮キャンパスグランドデザイン（整備計画将来構想）の策定〔継続〕
②次期中期事業計画の策定と年次計画との整合性の確保
③兵庫医科大学創立40周年記念事業（仮称）に伴う募金活動
④物流改革の推進

2）広報に関する事業

①広報組織・体制の見直し、強化

3）情報整備に関する事業

①情報システムの利用者情報の統合管理
②統合事務システムの構築（第2段階）

4）人材育成に関する事業

①事務職員のキャリア育成方針と人材マネジメントに関するルールの見直し、実施
②兵庫医科大学と兵庫医療大学との連携強化及び教職員へのFD強化と卒前卒後教育の連携

Ⅱ．施設整備・設備整備計画

１.西宮キャンパス

①9－1解剖実習室　ホルムアルデヒド対策
②教育・研究環境の整備・充実
③1号館の各種配管改修・更新工事（継続）
④８号館受変電設備改修工事
⑤急性医療総合センター建設事業
⑥基盤LAN設備の更新（第2段階）

平成２３年度予算について

～財政基盤改善３年目に向けて～

財務部

平成２３年度予算が平成２３年３月２２日に開催された理事会で次のとおり決定されましたのでお知らせします。

１．平成２３年度予算編成にあたって

本学の収支は、平成２１年度に「収入に見合う支出」（財政基盤の改善）を基本的な考え方とする施策をスタートさせ、支出予算圧縮に努めて以降、教職員の努力により黒字に転じました。平成２２年度は診療報酬改定を主因とする大学病院の収益増加をうけ、法人全体の収支は当初予算を大幅に上回る見込みです。また、医療大学においては、開学以来順調に年次を重ね４年制の看護学部、リハビリテーション学部は完成年度を迎え、この３月には初の卒業生を送りだしました。篠山キャンパスでは新病院建物が完成し、地域医療の中核を担う「ささやま医療センター」として再出発を果たし、両者ともに財務面で法人に貢献することが期待される環境が整いました。

一方、近年の大型施設・設備投資等により、将来に向けた施設・設備等の更新にかかる準備資産は大きく減少しています。くわえて平成２３年度は医療大学薬学部の大学院設置申請の基準となる年度であり、財務上の要件を充足する必要があります。

このような状況のもと、平成２３年度予算は、事業計画との整合性を保ちながら、西宮キャンパス再開発にかかる中長期事業を支え得る財政を堅持し、限られた資源のなかで健全な資金収支差額及び帰属収支差額を確保し、本学の新たな活力と成長への礎となるよう編成を行いました。

２．平成２３年度消費収支予算の概要

収入予算合計は４５，５４４百万円で前年度予算比＋３，３１０百万円、支出予算合計は４２，８５９百万円で前年度予算比＋１，７１３百万円となり、その結果、平成２３年度帰属収支差額予算は、２，６８５百万円確保しています。

収入について

・学生納付金：　医療大学開学５年目にあたり薬学部生の増加により、２大学合計で７，２３３百万円（前年度予算比＋２６７百万円）を予算計上。

・寄　付　金：　寄附講座及び兵庫医科大学創立４０周年事業に係る募金の立ち上げによる寄付金増加を加味し、合計１，１６０百万円を予算計上。

・補　助　金：　当年度の新たな要因として医療大学の看護学部・リハビリテーション学部完成に伴う経常費補助金２１８百万円、急性医療総合センターの耐震化整備事業補助金３７１百万円、教育研究設備補助金１５９百万円等を予算計上。ささやま医療センターにかかる施設・設備補助金４５３百万円はなくなりますが合計２，７２１百万円（前年度予算比＋１６１百万円）を予算計上。

・事 業 収 入：　本院での看護師の増員、一般病床の稼働率のアップ、病院の機器導入による医療収入の増加を見込み、法人全体の医療収入を３２，４１６百万円（前年度予算比＋２，６５５百万円）、その他事業収入１，２６５百万円を予算計上。

支出について

・人　件　費：　急性医療総合センター建設に伴う看護師の計画的人員増、医師の負担軽減にかかる人員増、派遣職員の直接雇用への切替等により、合計１９，５３７百万円（前年度予算比＋１，０８２百万円）を予算計上。

・教育研究経費：　医科大学で、研究基盤形成にかかる事業経費、寄附講座運営費、図書購入費等を増額し、計２，１５１百万円（前年度予算比＋２１１百万円）予算計上。医療大学においては入試改革経費、薬学部生の学外実習経費、奨学費、２年後の薬学部完成を見据えた就職支援拡充費等を増額し、計１，２９６百万円（前年度予算比＋９０百万円）を予算計上。

・医 療 経 費：　物流センターを中心とする経費見直し、抑制策の実行等により、合計１５，５７１百万円（前年度予算比＋２３９百万円、経費率同比▲３．４７％）を予算計上。

・管 理 経 費：　西宮キャンパスグランドデザイン関係費、職員の人材育成にかかる研修費及び教職員の健診等福利厚生関連経費等に配分し、合計５１１百万円（前年度予算比＋６８百万円）を予算計上。

３．平成２３年度施設・設備支出について

施設関係支出　（単位：百万円）

創立４０周年記念事業・急性医療総合センター	１，５１１
西宮キャンパス配管他施設改修	３６２
病院情報ＬＡＮ工事	６０
基盤ＬＡＮ機器設置	４
医学部関連施設改修	６８
総合研修棟改修	４８
病院関連施設改修	１３７
ささやま医療センター（院内保育所設置他）	１５
ささやま老人保健施設（通所利用者用施設）	４５
合計	２，２５０

設備関係支出　（単位：百万円）

情報・人事・事務系業務システム関連	１７０
医学部　一般機器等	３１９
大型機器　ＰＥＴ／ＣＴ装置	２９４
大型機器　磁気共鳴断層診断装置	２５０
病院　一般機器等	４０５
電子カルテ部門システム	３１５
急性医療総合センター関連先行導入機器	１１７
ささやま医療センター　診療機器更新	５０
ささやま老人保健施設　介護報酬請求システム他	５
医療大学　人工気象室等研究設備等	７８
合計	２，００４

上記施設・設備支出（４，２５４百万円）、借入金等返済支出（１，５９９百万円）等の支出により、借入金等収入（私学事業団からの急性医療総合センターにかかる借入）、及び資産売却収入（診療報酬債権の売却）による資金調達実行前の資金収支の差額は、１１１百万円のマイナス予算となっています。

平成２３年度収支予算

消費収支予算

（単位：百万円）

収入の部	科目	平成23年度	平成22年度	増減額
消費収入	学生納付金	7,233	6,966	267
	手数料	280	237	43
	寄付金	1,160	950	210
	補助金	2,721	2,560	161
	資産運用収入	47	40	7
	事業収入	33,681	31,054	2,627
	雑収入	421	424	▲ 3
	帰属収入　合計	45,544	42,234	3,310
	基本金組入額	▲ 2,439	▲ 2,805	366
	消費収入の部　合計	43,105	39,428	3,676

支出の部	科目	平成23年度	平成22年度	増減額
消費支出	人件費	19,537	18,455	1,082
	教育研究経費	3,752	3,465	287
	医療経費	15,571	15,332	239
	管理経費	511	443	68
	減価償却費	3,051	3,038	13
	借入金等利息	69	94	▲ 25
	資産処分差額	135	100	35
	徴収不能額	11	2	9
	徴収不能引当金繰入額	20	14	6
	予備費	200	200	0
	消費支出の部　合計	42,859	41,146	1,713
帰属収支差額		2,685	1,087	1,597
当年度消費収入超過額		246	▲ 1,717	1,963

資金収支関連予算

（単位：百万円）

収入の部	科目	平成23年度	平成22年度	増減額
資金収入	学生納付金収入	7,233	6,966	267
	手数料収入	280	237	43
	寄付金収入	1,112	902	210
	補助金収入	2,721	2,560	161
	資産運用収入	47	40	7
	事業収入	33,681	31,054	2,627
	雑収入	421	424	▲ 3
	資産売却収入	2,800	0	2,800
	借入金等収入	1,380	0	1,380
	その他の収入	37	0	37
	収入の部　合計	49,714	42,186	7,528

支出の部	科目	平成23年度	平成22年度	増減額
資金支出	人件費支出	19,403	18,511	892
	教育研究経費支出	3,752	3,465	287
	医療経費支出	15,571	15,332	239
	管理経費支出	511	443	68
	借入金等利息支出	69	94	▲ 25
	借入金等返済支出	1,599	550	1,049
	施設関係支出	2,250	1,574	676
	設備関係支出	2,004	1,710	294
	その他の支出	283	251	32
	予備費	200	200	0
	支出の部　合計	45,645	42,135	3,510
資金収支の差額		4,068	50	4,018

（百万円未満については切り捨てて表示）

急性医療総合センター　地鎮祭

平成２３年３月からの兵庫医科大学病院急性医療総合センター建設工事着工にあたり、平成２３年２月２１日、地鎮祭を執り行いました。

平成２４年に開学４０周年を迎える兵庫医科大学は、西宮キャンパスグランドデザイン（施設整備計画将来構想）の策定を行っています。第一弾となる急性医療総合センター建設により、災害拠点病院・特定機能病院として地域における重要な医療拠点の充実を図ります。

平成２３年２月２１日　地鎮祭

急性医療総合センター模型

≪急性医療総合センター建設概要≫
建物名称　：兵庫医科大学病院 急性医療総合センター
建築場所　：西宮市武庫川町１－１（１０号館東側）
建物面積　：　２，５１５平方メートル
延床面積　：１５，２５８平方メートル
構造種別　：鉄筋コンクリート造、免震構造
階　　数　：地上７階建、地階なし
建物高さ　：約３５．８ｍ
工事期間　：平成２３年３月～平成２４年１２月〔予定〕
開設予定　：平成２５年６月〔予定〕

施　　主　：学校法人　兵庫医科大学
設計･監理：株式会社　日本設計
施　　工　：株式会社　大林組

内部イメージ

NICU

初療室

救急病棟

スタッフラウンジ

平成２２年度学校法人兵庫医科大学連携病院の会　開催

平成２３年２月２５日、ノボテル甲子園において平成２２年度学校法人兵庫医科大学連携病院の会が開催されました。連携病院の会は、大学と連携病院が人事の交流等により相互の活性化を促進し、組織的な連携を強めること、大学と連携病院に在籍する医師の臨床教育・研修・研究及び診療技術の向上を図ること、効率的で有効な学生教育に資することや地域医療の向上に寄与すること等を目的として設置され、平成２３年２月２５日現在で１２０病院にご入会いただいています。

当日は学外者７７名（４６病院）、学内者７４名の合計１５１名の出席のもと、「医療人のキャリア開発支援」をテーマとして、兵庫医科大学病院副院長の山田看護部長より「看護師のキャリア開発支援」、済生会横浜市東部病院　院長補佐の正木 義博氏より「これからの医療を支えるマネジメントスタッフの役割とその育成」の演題でご講演いただきました。

理事・評議員・監事の異動

理事

新任	森田 泰夫（常勤理事）	〔平成23年4月１日付〕
	坂元 譲次（事務局長）	〔平成23年4月１日付〕
再任	三村 治 （兵庫医科大学主任教授）	〔平成23年4月１日付〕
退任	森谷 伊三男（公認会計士）	〔平成23年3月３１日付〕
辞任	森田 泰夫（事務局長）	〔平成23年3月３１日付〕
	飯田 俊一（常勤理事）	〔平成23年3月３１日付〕

評議員

新任	森田 泰夫（常勤理事）	〔平成23年4月１日付〕
	坂元 譲次（事務局長）	〔平成23年4月１日付〕
再任	難波 光義 （兵庫医科大学主任教授・副院長）	〔平成23年4月１日付〕
退任	森谷 伊三男（公認会計士）	〔平成23年3月３１日付〕
辞任	森田 泰夫（事務局長）	〔平成23年3月３１日付〕
	飯田 俊一（常勤理事）	〔平成23年3月３１日付〕

監事

新任	飯田 俊一（常勤監事）	〔平成23年4月１日付〕
再任	岡本 茂登（公認会計士）	〔平成23年4月１日付〕
	今中 利昭（弁護士）	〔平成23年4月１日付〕

規程等の制定・改正・廃止　（規程等の全文は学内ネットに掲載）

No.	項　　目	制定・改正・廃止の趣旨	制定・改正・廃止日
1	兵庫医科大学就業規則	病院の看護体制を踏まえ夏季休暇付与期間を延長するため及びささやま医療センター等に係る文言修正を行うため改正。	平成２３年２月１日
2	兵庫医科大学給与規程	医師の宿日直中の診療行為に係る時間外労働の割増賃金を支給すべく、教員を超過勤務手当の支給対象とするため及び手当項目を明確にするため改正。	平成２３年２月１日
3	西宮キャンパスの職員代表者選出内規	職員代表者は任期１年であり、年度開始毎に選出しておく必要があるため制定。	平成２３年２月１日
4	兵庫医科大学寄附講座設置規程	管理経費15%徴収すること等を明記するため改正。	平成２３年４月１日
5	兵庫医科大学先端医学研究所規程	平成23年3月31日付生体防御部門廃止に伴う改正。	平成２３年４月１日
6	兵庫医科大学期間契約雇用職員就業規則	期間契約に係る就業規則等の必要性が高まってきたことに伴う制定。	平成２３年４月１日
7	兵庫医科大学期間契約雇用職員給与規程	同上	平成２３年４月１日
8	兵庫医科大学学則	授業科目の一部変更、寄附講座を３講座設置及び従来の臨床系講座から独立させたことに伴う改正。	平成２３年４月１日
9	兵庫医科大学大学院学則	自己点検評価報告書に記載されている大学院医学研究科の目的との文言統一等及び指導教員の退任・着任に伴う改正。	平成２３年４月１日
10	個人情報保護病院小委員会規程	病院において患者の診療等の個人データを含めた個人情報の保護に関する必要な事項を協議するため、既設の個人情報保護委員会の小委員会を設置するため制定。	平成２２年１１月１６日
11	看護職員宿舎貸与規程	看護師採用者拡大と看護宿舎入居希望者増加に対応するため、①宿舎貸与期間7年から3年に短縮、②入居者を単身者に限定、③退職者が再入職する場合は不貸与、に変更すべく改正。	平成２３年１月１日
12	インフォームド・コンセント委員会規程	①個人情報保護病院小委員会が設置されたことに伴う診療情報の開示に関する事項の一部削除、②セイフティマネージャーの交代が頻繁にあるため、同役職を委員会指名から委員長指名に変更するため改正。	平成２２年１２月２１日
13	病院情報システム委員会規程	法人全体の情報化という情報センターの位置づけに合わせて、同委員会の位置づけを、病院部長会から情報センター運営協議会の下に変更するため改正。	平成２２年１２月１日
14	病院情報システム委員会幹事会規程	同上	平成２２年１２月１日
15	医療チームに関する規程	エコーガイド下CVC挿入推進チームの設置に伴い、同チームを医療チームの中に加えるため改正。	平成２３年１月１１日
16	IBDセンター運営規程	今後の入院診療体制を充実させるため専任教員配置に伴う改正。	平成２３年４月１日
17	医療安全管理委員会規程	委員会での検討・決定事項等を病院長へ報告する旨の条項を追加するため改正。	平成２３年２月１日
18	兵庫医科大学病院医薬品等臨床研究受託に関する規程	「医薬品の臨床試験の実施の基準に関する省令」の運用改正があったこと及び院内申請書式について厚労省が勧める治験事務の「統一書式」導入を行ったことによる、条文の文言変更のため改正。	平成２３年２月１日
19	診療録管理規程	診療録等の個人情報紛失時の届出窓口を病院事務部管理課へ集約するため改正。	平成２３年３月１日
20	兵庫医科大学病院顧問設置暫定内規	病院経営実践のエキスパートを顧問として委嘱することで、病院の体質強化や教職員の経営意識改革を惹起し、病院収益の更なる改善を目指すため制定。	平成２３年４月１日
21	兵庫医科大学ささやま医療センター就業規則	病院の看護体制を踏まえ夏季休暇付与期間を延長するため及びささやま医療センター等に係る文言修正を行うため改正。	平成２３年２月１日
22	兵庫医科大学ささやま老人保健施設就業規則	同上	平成２３年２月１日
23	居宅介護支援事業所運営規程	平成22年7月27日理事会で開設が承認された「兵庫医科大学ささやま居宅介護支援事業所」の運営について定めるため制定。	平成２３年２月１日
24	ささやま老人保健施設給与規程	ささやま老人保健施設における看護職夜間勤務手当を改定するため改正。	平成２３年１月２５日
25	兵庫医科大学ささやま医療センター規程	各部門長の配置の取扱を病院長の判断に委ねることに改めるため改正。	平成２３年４月１日
26	兵庫医療大学就業規則	４事業所（医科大学・医療大学・ささやま医療センター及びささやま老人保健施設）の就業規則の整理・統一すべく、①主語を雇用主である理事長に変更②出勤停止期間の上限を7日から30日に変更するため改正。	平成２２年１２月１日
27	兵庫医療大学学則	教育課程において、各学期をこえて開講することが必要な科目があり、各学期の授業開始日、終了日等を必要に応じて変更できるように変更するため改正。	平成２３年４月１日
28	兵庫医療大学ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する規程	兵庫医療大学薬学部を中心に推進しているヒトゲノム・遺伝子解析に関する研究について、法令等に従い制定。	平成２３年２月１日
29	兵庫医療大学ヒトゲノム・倫理審査専門委員会規程	同上	平成２３年２月１日
30	兵庫医療大学科学研究費補助金取扱規程	実際の申請等の業務に合わせるため、申請事務担当部署などの修正を行うため改正。	平成２３年２月１日
31	学校法人兵庫医科大学寄附行為	兵庫医療大学大学院設置に伴い、大学院看護学研究科及び大学院医療科学研究科を条文に加えるため改正。	平成２２年１２月２４日
32	学校法人兵庫医科大学役員報酬規程	開学以来、特別職給与規程に基づき支給してきた役員報酬について、非常勤役員も含めて支給対象、報酬の種類、報酬額等を見直すため制定。	平成２２年１１月１日
33	特別職給与規程	同上により廃止。	平成２２年１１月１日
34	学校法人兵庫医科大学役員退職金規程	常勤の役員専任者に対する退職金支給の整備をするため制定。	平成２２年１２月１日
35	学内理事退職加算金取扱要領	同上により廃止。	平成２２年１２月１日
36	職員相談室規程	部署名変更等のため改正。	平成２２年１２月２１日
37	職員相談室運営委員会規程	同上	平成２２年１２月２１日
38	学校法人兵庫医科大学大学連携協議会規程	両大学の全面的な連携を進める上で、構成員に両大学の学生部長、図書館長及び医療大学各学部長等を加える等のため改正。	平成２３年２月１日
39	学校法人兵庫医科大学事務組織規程	①「兵庫医科大学ささやま居宅介護支援事業所」の開設に伴い篠山事務部老健管理課を介護サービス課へ名称変更するため、及び②「後援会・同窓会連携室（兼アーカイブオフィス）」の設置が承認されたことによる同室の事務組織上の位置付け及び事務分掌を定めるため改正。	平成２３年２月１日
40	学校法人兵庫医科大学事務局職員自己申告制度に関する内規	事務局職員人材育成のため、自己のキャリアを自己申告する制度を導入することとし、それに伴う内規の制定。	平成２３年２月１日
41	学校法人兵庫医科大学早期退職優遇制度運用規程	職員の人生設計の多様化へ対応するため、早期退職する職員に対して通常の退職金の他に割増賃金を支給する優遇制度を設置するため制定。	平成２３年４月１日
42	学校法人兵庫医科大学事務組織規程	従来の医療人育成センターの業務改善のため、医療人育成課を新規に設置し、実習・研修にかかる事務組織の一本化を図るため改正。	平成２３年４月１日
43	学校法人兵庫医科大学公益通報者保護規程	公益通報者保護法が施行されたことに伴い、公益通報に関する保護制度に伴う通報処理の仕組みの整備と適切な運用を行うため制定。	平成２３年４月１日
44	学校法人兵庫医科大学情報公開規程	大学等が、公的な教育機関として、社会に対する説明責任を果たすべく、公表すべき情報を法令上明確にし、教育情報等の一層の公表を促進するため制定。	平成２３年４月１日
45	学校法人兵庫医科大学個人情報開示等規程	個人情報開示に係る請求手続き並びに開示方法その他これに付随する書式を併せた、より具体的な規程整備のため制定。	平成２３年４月１日
46	学校法人兵庫医科大学危機管理規則	本法人及び本法人周辺において発生する様々な事象に伴う危機に対して、迅速かつ的確に対処し、本法人の危機管理体制及び対処方法等を定めるため制定。	平成２３年４月１日
47	学校法人兵庫医科大学危機管理委員会規程	同上により制定。	平成２３年４月１日
48	学校法人兵庫医科大学旅費規程	時間の経過による本法人の組織、体制の変化並びに社会情勢の変化に対応すべく見直しを行い経費削減を図るとともに、従来の旅費規程、外国出張取扱規程、赴任旅費取扱内規等を統合するため制定。	平成２３年４月１日
49	学校法人兵庫医科大学旅費細則	同上により制定。	平成２３年４月１日
50	支度金等取扱内規	同上により制定。	平成２３年４月１日
51	旅費規程	同上により廃止。	平成２３年４月１日
52	外国出張取扱規程	同上により廃止。	平成２３年４月１日
53	赴任旅費取扱内規	同上により廃止。	平成２３年４月１日
54	外国短期研修取扱内規	同上により廃止。	平成２３年４月１日
55	外国出張取扱規程実施要領	同上により廃止。	平成２３年４月１日
56	科学研究費補助金における国内旅費、外国旅費の取扱要領	同上により廃止。	平成２３年４月１日
57	研究助成寄付金による外国出張等暫定取扱要領	同上により廃止。	平成２３年４月１日
58	職員の定年に関する規程	定年後の再雇用基準を緩和することに伴う改正。	平成２３年４月１日

兵庫医科大学　兵庫医科大学病院　兵庫医科大学ささやま医療センター　兵庫医療大学　学校法人兵庫医科大学

第１０回私立医科大学事務職員海外研修に参加して

兵庫医科大学　学務部教務学生課
課長　岩佐 一史

この度、(社)日本私立医科大学協会主催により平成２２年９月１２日～９月２４日の１３日間行われた「第１０回私立医科大学事務職員海外研修」に参加させていただきました。

これは、国際知識と視野をもつ事務職員の育成等を目的として米国における医科大学及び大学病院等の視察を実施しているものであり、今回は西海岸の大学病院を中心とした８施設を見学しました。

この研修では、医療先進国のイメージが強い米国の医療現状の一端を垣間見ることができました。制度や国民性の違いから単純に比較することはできませんが、施設のスケールの大きさ、病院経営戦略の綿密さを感じるとともに、日本とは全く異なる保険制度やリスクマネージメントの考え方などに触れ、また、電子カルテの導入や地域(へき地)医療など、我が国と同様の課題に生じている様々な問題は身近なテーマとして相通ずるものがあり、感慨深く感じました。

最後に、今回の研修の機会を与えていただいた関係各位に感謝申し上げるとともに、今回の貴重な体験を糧に今後の大学運営に寄与していきたいと思います。

Stanford Hospital and Clinics

Oregon Health and Science University

多彩人 “生涯剣道を目指す”多彩人

兵庫医科大学
歯科口腔外科学 主任教授
浦出　雅裕さん

剣道を始めたのは中学時代のクラブ活動がきっかけ。「体を鍛えたい」との思いから始め、５０年間剣道一筋で、現在は剣道教士七段の腕前をもつ。剣道の魅力はその「深み」にあると感じている。同じく剣道を嗜む２９歳で五段の息子さんと互角に戦うことはできるが、８０歳を超える師匠に敵わない。勝ち負けは技術や体力だけでなく、“気力”に大きく左右され、精神修養を積み重ねることで、年齢に関係なく現役でいられるところが、「深み」にも繋がってくるという。また、道場では、年齢や職種を問わず様々な人たちとの交流もあり、それらも自身の生活の刺激になっている。

５月恒例の京都大会が開催される武徳殿で試合を行う浦出さん

全国各地から六段以上の高段者が集まり、１年間の修錬の成果を披露する「全日本剣道演武大会(京都大会)」にも毎年参加し、稽古を続けている。現在は合格率わずか１パーセントという最高段位の八段に挑戦している。厳しい目標だが、「高い目標を持つことでモチベーションを維持し、『動じない心』を修得すべく『生涯剣道』を目指して鍛錬を続けたい」と意欲的に語っていた。

普段から背筋を伸ばし、剣道修練の１つと考えて、きびきびと歩くことを心掛けている。

さまざまな分野で才能を開花させている、極めている、アクティブに活動している“多彩人”の情報をお待ちしています。自薦・他薦は問いません。総務企画部広報課までご連絡ください。
＜電話：０７９８－４５－６６５５　メール：kouhou@hyo-med.ac.jp＞

SERIES 海外便り 第1回(全3回)

卒業生からのメッセージ

吉岡（よしおか）　淳（じゅん）

略歴

平成６年　兵庫医科大学卒業
平成１３年　大阪大学大学院医学系研究科博士課程修了
米国心臓核医学会若手研究奨励賞受賞
ハーバード大学医学部研究員
平成１４年　米国心臓協会フェローシップ受賞
平成１９年　ハーバード大学医学部インストラクター
平成２０年　米国心臓協会サイエンティストデベロップメントアワード受賞
平成２２年　ハーバード大学よりフランス国立衛生医学研究所（ＩＮＳＥＲＭ）へ出向
平成２３年　現職

Jun Yoshioka, MD, PhD, FAHA
Instructor in Medicine, Harvard Medical School
Associate Biologist, Department of Medicine, Brigham and Women's Hospital

此度の東北地方太平洋沖地震におきまして、被災されました皆様にお見舞いを申し上げると共に、亡くなられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。遠方からではありますが、私の所属しておりますハーバード大学においても、今回の震災に対する支援活動が積極的に進められております。

私はハーバード大学医学部に勤務して今年で１１年目を迎えます。現在はインストラクターという立場で研究、教育に従事しています。ハーバード大学の教員制度は特殊で、米国の大多数の大学にはこのインストラクターに相当するランクはなく、レジデンシーが終わって大学に残れば自動的にアシスタントプロフェッサーとして採用されますが、ハーバード大学ではインストラクターが独立した教員としてのスタートです。今回から３回にわたり「海外からのメッセージ」をお届けします。

注目されるハーバード大学の教育

ハーバード大学は米国で最も古い大学で、全米最多の大統領（７人）とノーベル賞受賞者（４８人）の輩出を誇り、幅広い分野で世界をリードしているのはご存知の通りです。最近「ハーバード白熱教室」なる本が日本でベストセラーになったことからも、多くの人がハーバード大学での教育のあり方に関心を持っているのは事実でしょう。そこで第１回目の今回は、ハーバード大学での医学教育について考えてみたいと思います。

ハーバード大学の教育は、果たして本当にそんなに素晴らしいのでしょうか？確かにハーバード大学医学部はその運営資金が年間４３３０億円で、うち研究教育費だけで１８６０億円の予算を有する世界一の医学部です。兵庫医科大学は学生６６１人につき教員４４６名ですが、ハーバード大学医学部は学生１２６１名につき教員は私を含めて８２５９名と、学生１人に対する教員数は兵庫医科大学の約１０倍です。しかしながら、私がこれまで観てきた限りにおいて、ハーバード大学の通常の学科クラスや臨床実習は、米国内の他医学部とほぼ同様で、特に突出して優れたプログラムを持っている訳ではない様です。

リーダーとなる人材を育てる場所

ではどこが違うのか。それは、ハーバード大学はただ単に一般の臨床医を育成する場ではないことです。むしろ、リーダーとなる人材を育てる場所であるという理念が根底に根付いています。例えば医学生の約１８％が、何らかの二重学位のプログラムを受講しています。ハーバード大学経営学部との合同でMD/MBA（経営学修士）、法学部と合同でMD/MPP（公共政策学修士）、公衆衛生学部と合同でMD/MPH（公衆衛生学修士）、そして理工系の超有名校マサチューセッツ工科大学（MIT）と合同でMD/PhD（博士）など。このことは、私達には一見分かりにくいのですが、米国ならではの社会事情と関連している様に思われます。つまり格差社会の米国において、ハーバード大学の卒業生は一般臨床医としてよりも経営、政策などあらゆる場面でリーダーシップをとれる人材として期待されているのです。

兵庫医科大学の理念に誇り

ハーバード大学医学部は、見方を変えれば通常の医学教育とは目的の違う、特殊な教育機関であると言えるのかもしれません。一般臨床医を育てるという最も崇高な使命よりも、一部のリーダーを育てることに重きを置いたハーバード式の教育、これは、やや特異なものかもしれません。私は卒業して１７年になりますが、「社会の福祉への奉仕、人間への深い愛、人間への幅の広い科学的理解」を理念とする兵庫医科大学で育ったことを、やはり誇りに思うのです。

雪解け混じりのハーバード大学医学部。
左側の建物内には有名な医学雑誌New England Journal of Medicineの編集室がある。

ハーバード大学構内でも震災に対する支援活動の呼びかけが盛んである。

医療を学ぶことは、ひとを学ぶこと

Hyogo University of Health Sciences

2011年に本学初の卒業生が誕生。大学院の開設とともに“医療総合大学”として新たなステップへ

2007年に開学した本学は、今春2011年に初めての卒業生（看護学部・リハビリテーション学部※）を輩出しました。社会から信頼される医療人として、今後の活躍が期待されます。
2011年4月からは、大学院（看護学研究科と医療科学研究科）が新たに開設され、次代の医療を担う医療科学の新たな分野を開拓できる人材を育成していきます。
こうして開学5年目を迎えた本学は、医療の総合大学としての歩みを着実なものとし、今後も次代の医療人育成に取り組んでいきます。
※薬学部は6年制のため、初の卒業生は2013年に誕生します。

国家試験合格率、就職率ともに全国トップクラス！

国家試験合格率

○看護学部　（全国平均）
- 看護師 …… 100%（96.4%）
- 助産師 …… 100%（98.2%）
- 保健師 …… 82.3%（89.7%）

○リハビリテーション学部
- 理学療法士 …… 95.0%（78.5%）
- 作業療法士 …… 94.4%（79.6%）

就職率※

○看護学部 …… 100%
○リハビリテーション学部
- 理学療法学科 …… 100%
- 作業療法学科 …… 100%

※就職希望者に対する就職者の割合

主な就職先など

○看護学部
- ・兵庫医科大学病院
- ・地方独立行政法人神戸市民病院機構
- ・西神戸医療センター

○リハビリテーション学部
（理学療法学科）
- ・兵庫医科大学病院
- ・兵庫医科大学ささやま医療センター
- ・医療法人中央会尼崎中央病院

（作業療法学科）
- ・医療法人朗源会おおくまリハビリテーション病院
- ・兵庫医科大学病院
- ・西宮協立リハビリテーション病院

（2010年度実績）

学校法人　兵庫医科大学

兵庫医療大学

薬学部／看護学部／リハビリテーション学部

〒650-8530　神戸市中央区港島1丁目3番6
[代表]TEL：078-304-3000　FAX：078-304-2700　URL:http//www.huhs.ac.jp

大学探訪

兵庫医療大学第１回卒業式

表紙を飾るのは、卒業の日を迎えた兵庫医療大学の第１期生と松田学長が、神戸キャンパス・センタープラザ前で集合写真を撮影している様子です。

神戸の港から未来に向かって羽ばたこうとする第1期生を、兵庫医療大学のシンボルでもある梟（彫刻）が静かに見守っています。

平成２３年３月１３日、晴天に恵まれ春らしい陽気となったこの日、平成１９年に開学した兵庫医療大学は、初めての卒業生を送り出しました。

学校法人 兵庫医科大学

建学の精神

社会の福祉への奉仕
人間への深い愛
人間への幅の広い科学的理解

兵庫医科大学
兵庫医科大学病院
〒663-8501　兵庫県西宮市武庫川町1番1号
TEL:0798-45-6111（代）
http://www.hyo-med.ac.jp/（大学）
http://www.hosp.hyo-med.ac.jp/（病院）
http://www.corp.hyo-med.ac.jp/（法人）

兵庫医療大学
〒650-8530　兵庫県神戸市中央区港島1丁目3番6
TEL:078-304-3000（代）
http://www.huhs.ac.jp/

兵庫医科大学
ささやま医療センター
〒669-2321　兵庫県篠山市黒岡5番地
TEL:079-552-1181（代）
http://www.corp.hyo-med.ac.jp/

学校法人兵庫医科大学広報　発行月・VOL／2011年4月号・VOL.210　発行／学校法人兵庫医科大学　総務企画部 広報課
発行日／平成23年4月25日　印刷・製本／株式会社ゼネラルアサヒ